

日本の貿易政策を今後どうすべきか？ 最新図説政経 p.342, 343

年 組 番 名前

問1 現状を理解しよう。

図説政経 p.342 導入・A（貿易の自由化はどこまで進んでいるか？）・p.343 B（FTA・EPA の具体的な内容は？）などの資料を見て、貿易の自由化の現状について気付いたこと書きましょう。【知識・技能】

問2 ディベートの準備をしよう。

- (1) 日本が FTA・EPA を締結し、貿易の自由化を促進することについて、肯定（賛成）・否定（反対）の 2 つのグループを作りましょう。グループは、自分の考えにこだわらず、同じくらいの人数で作りましょう。
- (2) (1)のグループの立場で、日本が締結している FTA・EPA の具体的な内容や課題を調べ、**観点**などを参考に、下の表にまとめましょう。 【知識・技能】

●私の立場は…

☐貿易の自由化を促進する（肯定） / ☐貿易の自由化を促進しない（否定）

（(1)で決めたグループの□に✓を入れましょう）

●「その他」の例
知的財産権 人の流れ
消費者 世界経済
日本の貿易相手の先進国
／発展途上国

	日本の農業	日本の工業	その他（ ）
期待される効果			
懸念されることとそれに対する対策			

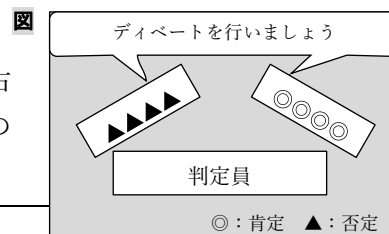
- 観点** ☐各産業、雇用、消費など、国内経済への影響
☐持続可能性、サービスの維持
☐世界経済や国外（特に貿易相手国）への影響
☐グローバル化、国際的な競争力

様々な立場（多くの影響を受ける人々）

- ・日本国内の 小規模農家／大規模農家、大企業／中小企業、経営者／労働者、生産者／消費者
- ・日本へ農産品を輸入している先進国／発展途上国
- ・日本が工業品を輸出している先進国／発展途上国
- ・海外進出して現地法人を設立し、日本への輸出品を生産する日本企業

問3 ディベートをしよう。(図説政経:p.17 ディベートの進め方)

- (1) 問2の表をもとに、ディベート用紙①②をまとめましょう。その後、右の図のように3つの役割に分け、ディベートをしましょう。ディベートの内容は、ディベート用紙③④に記録しましょう。【思考・判断・表現】



Memo (気づいたことなど自由に書こう！)

- (2) ディベートを行った肯定側・否定側の人は、ディベート用紙⑤の〈自己評価〉に沿って、自己評価しましょう。判定員はディベート用紙⑤の〈判定〉に沿って、ディベートの評価をしましょう。

* ディベートは勝敗ではなく、より多面的・多角的に考えられたか、という視点が大切です。

問4 見方・考え方を働かせて考えよう。

日本の貿易政策は、どのように進めればよいでしょうか。問3のディベートや、次のチェックポイントに着目して、自分の意見をまとめましょう。【思考・判断・表現】

●チェックポイント

☐ 大きな負担がかかる産業はないか？ (公正)

☐ 負担がかかるとしたら、その対策まで考えられているか？ (公正)

☐ 日本だけでなく、貿易相手国も含む、現在・未来の人々が幸せに暮らせるか？ (持続可能性)

●図説政経 p.342にある2次元コードの「様々な意見」も参考にしましょう。
●グループやクラスで発表して意見を交換し合い、考えを深めましょう。

自分の意見 (理由・根拠も含めてまとめましょう)